

## 全ロシア人民戦線関連(その2)

### 1. 全ロシア人民戦線設立宣言(案)

プーチン首相は、5月6日に「全ロシア人民戦線」(Общероссийский народный фронт : All Russian people's front) の設立構想を明らかにして以降、人民戦線に参加予定の団体代表者や与党統一ロシア関係者との準備会合を既に複数回行っており、5月13日には統一ロシアのホームページに「全ロシア人民戦線設立宣言(案)」が掲載された。

設立宣言(案)では、「全ロシア人民戦線」の目的を、「強固で民主的な主権国家ロシアの建設」とし、その実現のため幅広い参加者による議論によって作られた統一選挙プログラムをもって12月の議会選挙に参加するとしている(以下、抄訳・仮訳)

### 《全ロシア人民戦線設立宣言(案)》

我々参加団体の代表者は：

- －ロシア及び多民族からなる国民の利益のために行動し、
- －人権とロシア連邦憲法及び法律を尊重し、
- －真の民主主義と全国民による国家の運命の決定への参加を実現し、
- －我々の指導者ウラジミール・プーチン氏のイニシアティブを支援し、ロシア大統領が示す進路を実現するために

ここにロシア社会の発展と長期的発展戦略の実現のための創設される広範な連合体としての「全ロシア人民戦線」の結成を宣言する。

我々の目的：

強固で民主的な主権国家ロシアを建設する。

自由の原則と起業支援、競争、社会的パートナーシップ、雇用者の責任と労働者の権利保護を基盤とする市場経済を構築する。

自由で成功した国民による、男女平等、異なる宗教・国籍・世代・職種の人々の連帯尊重という価値観の上に形成される社会を実現する。

我が国はイノベーションと全面的近代化、「2020年戦略」実現へ向けた確固たる前進を通

じたダイナミックな発展を必要としている。

それを実現するために、我々は法に従い、「統一ロシア」の候補者リストを作成する合意に基づき、ロシア連邦下院議会選挙に共同で参加することで同意した。

我々の候補者は、「全ロシア人民戦線」に加わる全ての機関による幅広い議論を通じて策定される統一プログラムに従い選挙に参加する。

統一プログラムは国家の進路を示すものであり、作成には幾百万の同胞が参加することを希望する。「全ロシア統一戦線」は、新たなアイデア、市民社会—青年、女性、軍人、企業家、労働組合、連合団体等、発展のための重要問題解決に関与する意思を持つ全ての国民に対して開かれている。国民の専門的で創造的な潜在力を発揮させるために、社会によるイニシアティブが必要である。

我々は、ロシアを愛し、歴史を尊重し、今日の国家及び偉大な未来の建設のために働く意思のある全ての人々に「全ロシア人民戦線」への参加を求める。

我々は我々勝利、そしてロシアの勝利を信じる。

プーチン首相がこの人民戦線の構想を明らかにして以来、その狙いについて様々な議論がなされているが、人民戦線は、支持率低下に悩む統一ロシアとプーチン首相が、その対策として党の支持母体を拡大し、12月の議会選挙における統一ロシアの絶対多数確保を目指すためのものとする見方が一般的である<sup>1</sup>。そして、さらにプーチン氏が2012年の大統領選挙に「全ロシア人民戦線」の協力的な支持のもとに候補者として指名されることを目指すものとの見方もある。憶測ではあるが、上記設立宣言案の4行目に、「指導者ウラジミール・プーチン氏」（指導者とは統一ロシアの党首の意味）と名指しで書かれているのに対し、大統領については「メドベージェフ氏」の名前が無く単に役職名が記載されていることも、そのことを示しているといわれている。

下院議長で統一ロシア最高評議会議長であるボリス・グスイロフ氏も、人民戦線が統一ロシアの票を増やすためのものであることは否定しつつも、「人民戦線は大統領候補を指名する母体となり得る」と明言している。

---

<sup>1</sup> 全ロシア人民戦線に関するロシアメディアの論調については、ロシア関連メモ No.67「全ロシア人民戦線構想とその評価」（2011.5.11）参照。

## 2. メドベージェフ大統領の反応

### (1) BГTPK インタビュー

人民戦線がプーチン氏が大統領への復帰を視野に入れてのものであるとすれば、これをメドベージェフ大統領がどのように捉えるかが注目される場所である。メドベージェフ大統領とプーチン首相は、大統領選挙に 2 人のうちどちらが立候補するかは、国家の利益の観点から話し合い、しかるべき時期に決定するとしているが、最近のメドベージェフ大統領のスピーチや政策イニシアティブ<sup>2</sup>等から同大統領が再選への意欲を持っていることは公然の秘密となっている。

プーチン首相は準備会合の中で、人民戦線の設立についてメドベージェフ大統領に相談し、大統領からは支持する旨の表明があったことを明らかにした。その真偽を問う質問<sup>3</sup>に対しメドベージェフ大統領は、プーチン氏から人民戦線に関する話があったことを認め、たうえて、「政党が国に対する影響力を保持しようとする意図は理解できる。そのために連合を形成することは合法的なことであり、選挙運動の観点からも正当化される」、「しかし、他の連合や政党も選挙キャンペーンに積極的に参加することを期待する。私の任務は選挙に関する法律が適正に適用されることを確保することであり、国内に必要な政治的競争を作り出すこと、そして政治システムを安定化することである」と回答した。

このようなやや一般論的な回答のみで、人民戦線への支持を直接的に明言しなかったことから、メドベージェフ大統領は人民戦線に参加することはなく、距離を置こうとしているとの受け止め方がなされている。

### (2) コストロマ・スピーチ

メドベージェフ大統領は 5 月 13 日にコストロマで開催された若手議員との会合で「ロシアの政治的発展」と題する講演を行った。

そのなかでメドベージェフ大統領は、「ロシアでは、1 人の個人に権力が過度に集中する事態は避けなくてはならない。将来の大統領は政党や官僚と適切な距離を保ち、**余り長い期間に渡ってその地位にとどまるべきではない。**」「自分は無制限に権力を保持できると考える人は社会にとって危険である。」「過度の権力集中は非常に危険であり、それは歴史上ロシア何度も発生し、そのことが停滞や内戦につながった」と述べた。

---

<sup>2</sup> メドベージェフ大統領が 3 月 30 日に開催された「ロシア経済近代化・技術的發展委員会」で発表したロシアの投資環境改善にかかる包括パッケージは、大統領再選の意図を明確に宣言したものとして、委員会の開催地名を取って「マグニトゴルスク・マニフェスト」と呼ばれている。内容についてはロシア関連メモ No.65 「近代化の条件－投資環境の改善」(2011.4.4) 参照。

<sup>3</sup> ロシア国営放送局 BГTPK のキャスター、セルゲイ・プリリョフ氏の質問

この発言は、プーチン氏と統一ロシアへの権力集中や、プーチン氏が 2012 年大統領に再選され、その後 2 期 15 年間、2000 年から 2008 年の大統領在任期間と合わせると 23 年間という長期在任となることを暗に批判し、プーチン氏の動きを牽制したものとして報道されている。

以上